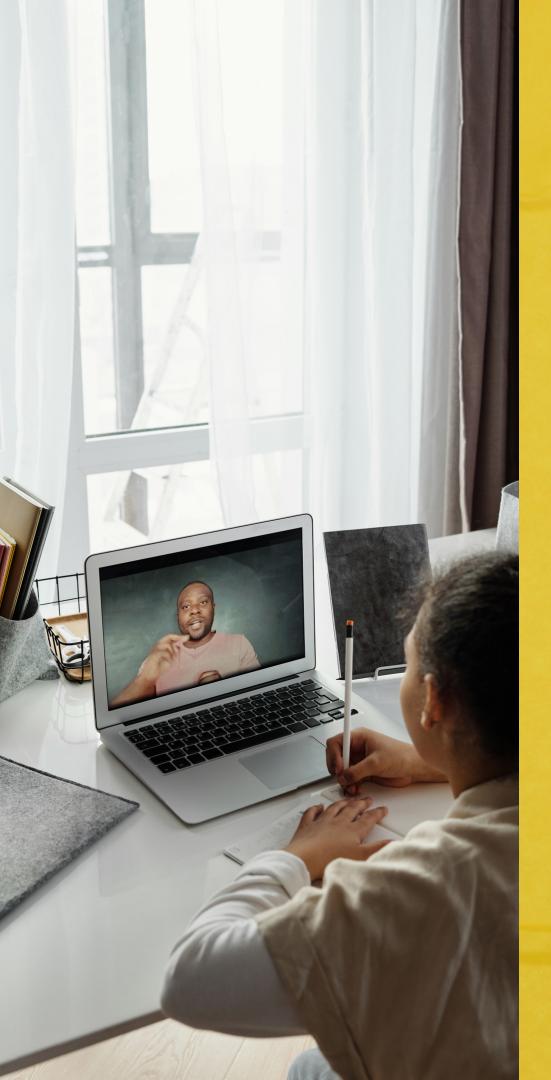
Agenda

- **一** メンバーから一言ずつ
- 主に担当しているシステム・サービスとリポジトリ
- 一作業手順・運用の確認
- 各種ツールの確認
- ドラッカー風エクササイズ



ドラッカー風エクササイズをやってみよう

4つの質問に全員が答えることで、相互理解を深め、期待をすり合わせる ワークショップです。

参考記事: https://tech.pepabo.com/2017/07/07/the-drucker-exercise/

得意なことを知り、期待をすり合わせる

お互いのことをわかっ ているつもりになっ ている 本当は別 のことやりたけど しょうがないな

Cさん得意そうだから お願いしよう





Aについてがんばろう

Bを伸ばしてくれると いいんだけどな





やりたいことと期待 されてることがずれ ている 阿吽の呼吸を期待し すぎている

流れ

- 一 目的の共有(1分)
- 回答の記入 (10分)
- -- 回答の発表 (~5分/人)
- **--** 結果を確認 (5分)
- ー クロージング (5分)

目的

- メンバーのスキルを明文化することで チームの力を把握する
- メンバーの得意な領域を知ることで チームの力を最大限発揮する

■ 期待を擦り合わせることで **円滑な意思疎通とチームの成長を促す**

回答の記入(10分)

- ── 赤色の付箋に「名前(あだ名)」を書きます
- ── 緑色の付箋に「得意なこと・強み」を3つ書きます

- 一 青色の付箋に「チームメンバーは自分にどんな成果を期待しているか」を3つまで書きます
- 黄色の付箋に「他のメンバーに期待することは何か」を1人につき3つまで書きます

回答の発表 (~5分/人)

── 1人が名前・得意なこと・期待されている成果を発表します。

── 他の人がその人への期待することを発表します

── 全員分繰り返します

結果を確認(~5分)

- ── 1人ずつ貼られた付箋を見て、気になったところがないか確認します
- ── 全員分繰り返します

___ その他にみんなと話したいことがないか確認します

クロージング(~5分)

一 1人ずつやってみた感想を一言で言います

おつかれさまでした!

これからよろしくお願いいたします!